

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
生駒一憲	頭部外傷後遺症	小林祥泰， 水澤英洋， 山口修平	神経疾患最新 の治療 2015- 2017	南江堂	東京	2015	111-112
生駒一憲，小 川圭太	(第6章)脳腫 瘍：高次脳機能 障害に対するリ ハビリテーション の効果	日本がんリ ハビリテー ション研究 会	がんのリハビ リテーション ベストプラク ティス	金原出版	東京	2015	157-162
深川和利，藤 山美由紀，若 林望嘉，佐々 木照子			NANDA-Iの看護 診断にもとづ く高次脳機能 障害の標準看 護計画	メディカ 出版	大阪	2014	全264
蒲澤秀洋	高次脳機能障害	社会福祉士 養成講座編 集委員会	新・社会福祉士 養成講座 人 体の構造と機 能および疾病 (第3版)	中央法規	東京	2015.2	162-166
奥村由香，浅 野好孝，篠田 淳	外傷性脳損傷	呉 東進	医学的音楽療 法	北大路書 房	京都	2014	103-111
白山靖彦	障害者総合支援 法における地域 生活支援事業	著者同	介護支援専門 員速習テキス ト	日総研	名古屋	2014	総224頁
白山靖彦	地域相談支援事 業	菊池智子	ケアマネしあ わせ便利帳	日総研	名古屋	2014	184-204
種村純	標準注意検査 法・標準意欲評 価法CATSの臨 床的意義	日本高次脳 機能障害学 会教育・研 修委員会	注意と意欲の 神経機構	新興医学 出版社	東京	2014	
種村純	失語症・失音楽 症と音楽活動	田中順子	目からウロコ の音楽活動	三輪書店	東京	2014	125-148
種村純、宮崎 泰広	語彙・意味の訓 練	平野哲雄、 他	言語聴覚臨床 マニュアル、 改訂第3版	協同医書 出版社	東京	2014	214-217
種村純	失語症研究史	藤田郁代、 立石雅子	標準言語聴 覚障害学、失 語症	医学書院	東京	2015	49-62

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
中島八十一	高次脳機能障害と地域支援ネットワーク	日本病院会雑誌	62(2)	179-188	2015
Imahashi, K., Fukatsu, R., Nakajima, Y., Kamezawa, Y., Nakamura, K.	The Support Systems for Persons with Cognitive Disorder due to an Acquired Brain Injury: A Higher Brain Dysfunction Support Promotion Project in Japan	Joining Hands: WHOCC E-newsletter	(5)	6-7	2014
深津玲子, 今橋久美子	失語症のリハビリテーション	Modern Physician	34(7)	824-826	2014
今橋久美子	ウェブサイト「高次脳機能障害情報・支援センター」の紹介	臨床リハ	23(11)	1079-1080	2014
Yoshida K, Sawamura D, Inagaki Y, Ogawa K, Ikoma K, Sakai S	Brain activity during the flow experience: a functional near-infrared spectroscopy study.	Neurosci Lett	573	30-34	2014
Sawamura D, Ikoma K, Yoshida K, Inagaki Y, Ogawa K, Sakai S	Active inhibition of task-irrelevant sounds and its neural basis in patients with attention deficits after traumatic brain injury.	Brain Injury	28(11)	1455-1460	2014
Kazuki Yoshida, Daisuke Sawamura, Keita Ogawa, Katsunori Ikoma, Kiyoshi Asakawa, Taro Yamauchi, Shinya Sakai	Flow experience during attentional training improves cognitive functions in patients with traumatic brain injury: An exploratory case study	Hong Kong Journal of Occupational Therapy	24(2)	81-87	2014
大塚 祐子	高次脳機能障害者が活用できる地域の社会資源	CLINICAL REHABILITATION	Vol . 23 No . 11	1042頁	2014年
篠田淳, 浅野好孝	頭部外傷後高次脳機能障害の画像診断と軽度外傷性脳損傷	賠償科学	40	7-15	2014
篠田淳, 浅野好孝	植物状態(遷延性意識障害)	Clinical Neuroscience	32	926-931	2014

Okumura Y, Asano Y, Takenaka S, Fukuyama S, Yonezawa S, Kasuya Y, Shinoda J	Brain activation by music in patients in a vegetative or minimally conscious state following diffuse brain injury.	Brain Inj	28	944-950	2014
阿部順子	高次脳機能障害家族のストレス軽減のプロセス ピアサポートに焦点をあてて	岐阜医療科学 大学紀要	9号	p.1-10	2015.3
Sonoda S, Shirayama Y, Tanabe S, Shimomura K, Suzuki S	Validity of the progress notebook in supporting patients with higher cortical dysfunction.	Jpn J Compr Rehabil Sci	5	93-96	2014
堀江 仁志	遂行機能障害を有する患者への理学療法士の関わり	理学療法	31巻5号	481-489	2014
吉野 修、野村忠雄、浦田 彰夫、坂本 尚子、小竹源紀	装着センサを用いた高次脳機能障害者の運転技能評価システム～障害物回避場面での安全確認動作～	第51回日本リ ハビリテーシ ョン医学会学 術集会プログ ラム・抄録集	第51巻 特 別号	279	2014
野村 忠雄、坂本尚子、吉野 修、浦田 彰夫、小竹源紀	装着型センサによる高次脳機能障害者の実車運転評価～交差点での左右確認動作～	第51回日本リ ハビリテーシ ョン医学会学 術集会プログ ラム・抄録集	第51巻 特 別号	326	2014
Sonoda Shigeru, Yasuhiko Shirayama, Tanabe Sachiko, Shimomura Kouji and Suzuki Shin	Validity of the progress notebook in supporting patients with higher cortical dysfunction	Japanese Journal of Comprehensive Rehabilitatio n Science	Vol.5	93--96	2014
Sonoda Shigeru, Yasuhiko Shirayama, Sakamoto Rie, Nagai Shota and Sakurai Shinobu	Factors Influencing the Zarit Burden Interview in a Japanese Community: Activities of Daily Living and Depressive State	International Journal of Physical Medicine & Rehabilitatio n	Vol.2	No.216	2014
白山 靖彦	高次脳機能障害者に関連する法制度	Clinical rehabilitatio n	Vol.23, No.11	1059--1065	2014

白山靖彦	社会福祉の立場から認知症高齢者の意思決定プロセスを考える	日本補綴歯科学会誌	Vol.6, No.3	255--260	2014
宮崎 泰広, 種村 純	数唱や無意味音列の復唱は可能であるが複数単語の復唱に困難を示した失語症例 言語性短期記憶についての一考察	高次脳機能研究	34 巻 1 号	17-25	2014
山本 弘子, 八島 三男, 園田 尚美, 綿森 淑子, 種村 純, 中村 やす:	失語症の人と家族の生活の実像 全国失語症友の会連合会の「失語症の方の生活のしづらさに関する調査 2013 報告書」より見えてくるもの、(1880-5523) Page	地域リハビリテーション	9 巻 4 号	264-271	2014
種村 純, 椿原 彰夫	視覚認知 同時失認	Clinical Neuroscience	32 巻 2 号、	157-160	2014